

REDD プラスへの取組動向

Country Report コンゴ民主共和国



平成 24 年度

独立行政法人 森林総合研究所
REDD 研究開発センター



REDD プラスへの取組動向

Country Report

コンゴ民主共和国

-目次-

1	森林の概況	2
1.1	経年変化	2
1.2	今後の森林計画等	3
2	REDD プラスへの取組状況	3
2.1	取組開始	3
2.2	REDD プラス実施体制	4
2.3	REDD プラス実施のためのプロセス構築	5
2.4	R-PP における成果フレームワークと予算の概要	6
2.5	REDD プラスへの取組（年表）	7
3	主だった REDD プラス関連事業の実施状況	8
3.1	主だった REDD プラス関連事業の実施状況	8
3.2	日本の支援状況	10
4	UNFCCC への関与情報	11
4.1	UNFCCC での取組状況	11
4.2	NAMAs における REDD プラスの位置づけ	11
5	UNFCCC へ提出している森林情報	11
6	その他の特徴的な地球温暖化対策	11

1 森林の概況

- コンゴ民主共和国の森林は、低地湿潤熱帯林（森林面積の 54%）、サバンナ（18%）、半落葉乾燥林（17%）等から構成されている¹。コンゴ民主共和国の森林炭素ストック量は熱帯林諸国の中で第 2 位であり、REDD プラス実施の高い潜在性を有する²。
- コンゴ民主共和国の森林は全て国有林であるが、法律に基づき地域住民やコンセッション取得者に森林の使用権が付与されている。環境・自然保護・観光省（Ministry of Environment, Nature Conservation and Tourism : MECNT）が森林を管轄している。
- コンゴ民主共和国の 1990 年から 2010 年までの平均年間森林減少は 311 千 ha/年、森林面積の年間減少率は 0.2%である¹。
- 森林減少は主に大都市近郊で発生しており、焼畑移動耕作及び燃料木採集が森林減少の大きな要因となっている。また、商業伐採及び鉱物採掘は森林劣化の要因となっている。

1.1 経年変化

【表 1-1 コンゴ民主共和国の概況】

	1990 年	2000 年	2010 年
人口(中位推計) ³ (千人)	36,406	49,626	65,966
GDP ³ (百万米ドル)	9,350	4,306	13,145
1 人あたり GDP ³ (米ドル/人)	257	106	201
GDP 成長率 ³ (%)	-6.6	-6.9	7.2
国土面積 ⁴ (千 ha)	234,486	234,486	234,486
森林面積 ⁴ (千 ha)	160,363	157,249	154,135
森林率(%)	68.4	67.1	65.7
年平均森林減少面積 ⁴ (千 ha/年)	-	311	311
Primary Forest ⁴ (千 ha)	-	-	-
Other naturally regenerated forest ⁴ (千 ha)	-	-	-
Planted Forest ⁴ (千 ha)	56	57	59
Carbon stock in living forest biomass ⁴ (百万 t)	20,433	20,036	19,639

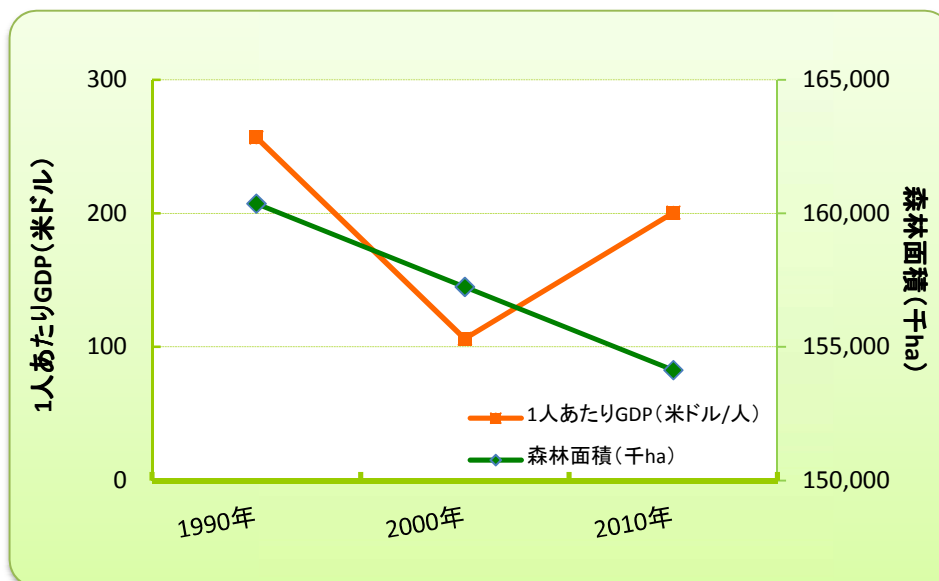
(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典 : ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011 : 81.

² 出典 : Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document – DRC.

³ 出典 : UN data

⁴ 出典 : FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. Global Tables.



【図 1-1 コンゴ民主共和国の 1 人あたり GDP と森林面積（1990～2010 年）】⁴

1.2 今後の森林計画等

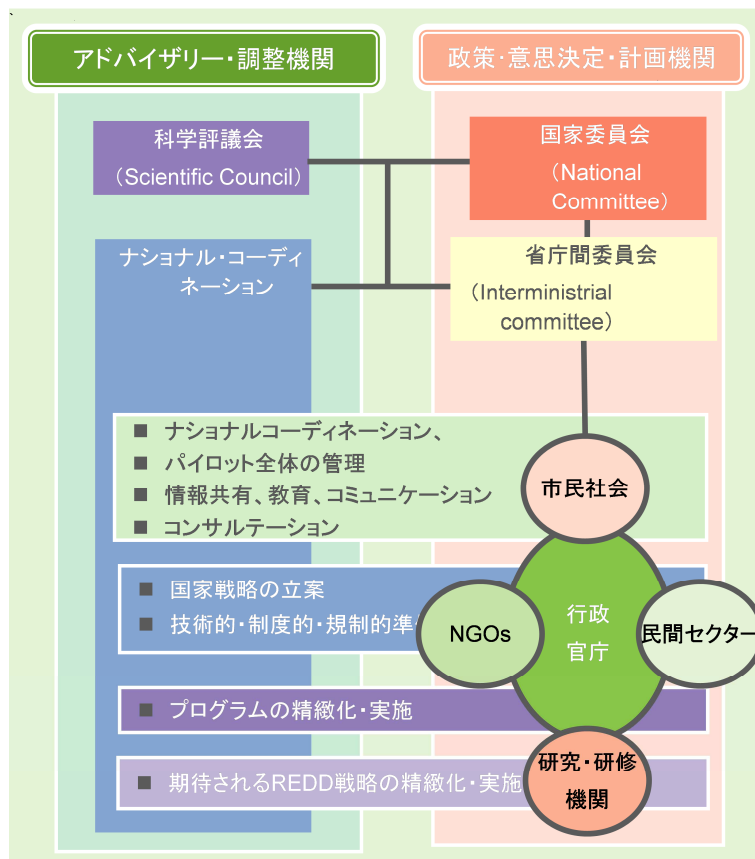
- ▶ コンゴ民主共和国には国として定めた森林計画はない。ベルギーの植民地であった 1949 年に定められた規則を継承する形で 2002 年に森林法（Forest Code）が施行され、森林は国有であるものの、その管理は県レベルの地方政府が担う方針となっている。

2 REDD プラスへの取組状況

2.1 取組開始

- ▶ コンゴ民主共和国は、2009 年 11 月の首相令により、国家レベルでの REDD 準備のための委員会を設立し、REDD に関する政策決定や計画、調整等を行っている。
- ▶ 初期のコンゴ民主共和国における国家プログラムにおいて、国家 REDD プラス戦略が UN-REDD プログラム政策委員会に承認された後、国家プログラム文書は 2010 年 10 月に署名され、UN-REDD プログラムの公式発足とともに、支援資金が同年 11 月に配分された。
- ▶ 国家プログラムの初期段階である政策計画から成果主義へと移行しつつあり、REDD プラスに関する研究や、REDD プラスパイロットプロジェクトの試行、研修、地域レベルでの知見共有、国内コンサルテーションプロセスの完了、国内初の REDD プラスカリキュラムの開講などが行われている。
- ▶ REDD プラスフェーズ 1（準備段階）について、2012 年末の完了を目指し取組を実施中である。その後、2015 年末までがフェーズ 2（試行段階）、2016 年以降がフェーズ 3（完全実施段階）となることが期待されている。

2.2 REDD プラス実施体制



【図 2-1 コンゴ民主共和国における REDD プラス実施体制】⁵

【表 2-1 コンゴ民主共和国の REDD プラス関係省庁及びその役割】⁶

組織名	REDD プラス実施の際に想定される役割
環境・自然保護・観光省 (MECNT)	■ クリーン開発メカニズム (Clean Development Mechanism: CDM) の指定国家機関 (Designated National Authority: DNA)、REDD プラス政策・戦略の立案を担当
農業省 (Ministry of Agriculture: MOA)	■ REDD プラス政策への農業、農村分野からのインプットを実施
エネルギー省 (Ministry of Energy: MOE)	■ 国民の 80% が森林由来を含むバイオマスエネルギーに依存するため、エネルギー保全との観点からの REDD プラス政策へのインプットを実施
鉱業省 (Ministry of Mines)	■ 銅・コバルトの世界的産地である森林地帯の資源開発と森林保全の調整を担当
インフラ・土木省 (Ministry of Infrastructures, Civil Engineering)	■ 道路等のインフラ設備と森林保全との調整を担当
土地所有省 (Ministry of Land Tenure Affairs)	■ 鉱物開発、インフラ開発、農業開発等と森林保全との調整を担当
計画省 (Ministry of Plan)	■ REDD プラス政策・戦略と国家計画との整合性・調整等を担当

⁵ 出典：Democratic Republic of Congo (2012) REDD Readiness Progress Sheet.

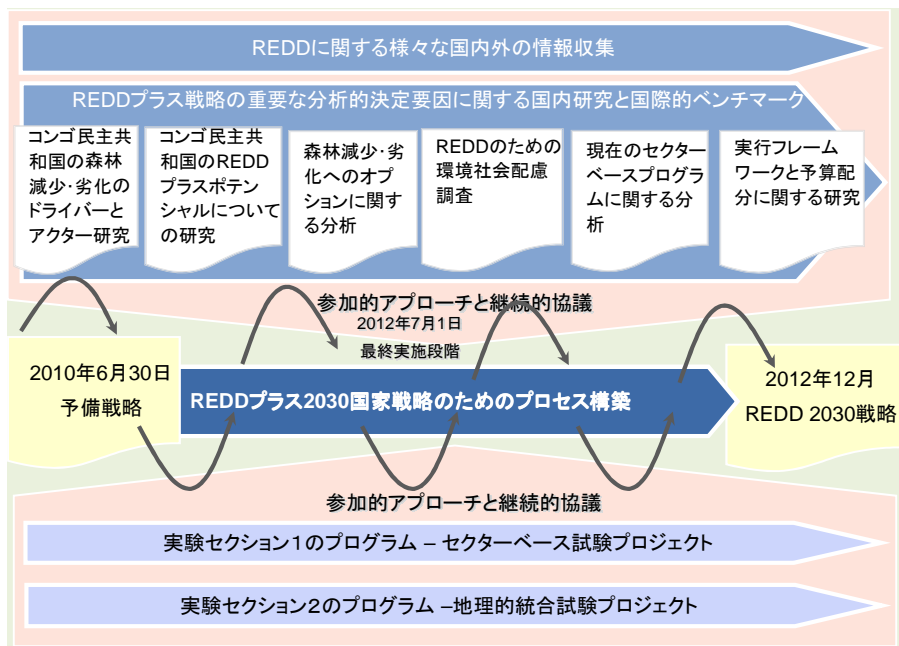
⁶ 出典：Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 15-17.

【表 2-1 つづき】

組織名	REDD プラス実施の際に想定される役割
内務・民主省 (Ministry of Interior and Decentralization)	■ REDD プラス政策への地方分権と森林保全分野からのインプットを実施
農村開発省 (Ministry of Rural Development)	■ REDD プラス政策への農村開発、農民の生活保護分野からのインプットを実施
財務省 (Ministry of Finance: MOF)	■ 各種ドナーからの援助資金等に関わる調整を担当

2.3 REDD プラス実施のためのプロセス構築

- 世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金 (Forest Carbon Partnership Facility : FCPF) に提出した Readiness Programme Idea Note (R-PIN) において、2012 年までに達成すべき目標として、以下が挙げられている。
 - 各県に REDD コーディネーターを 1 名配置
 - 国ベース、県ベース、現地ベースでの市民社会の参加を促し、市民社会による REDD Climate Work Group としての活動のためのキャパシティ・ビルディングを実施
 - REDD Climate Work Group やその他の市民社会団体が参画した独立選挙委員会 (The Independent Electoral Commission : IEC) や県レベルのコンサルテーション計画を策定
 - REDD プラスに関する研究、モニタリング、試験的な取組を実施しながら、REDD 行動計画を通じた国家合意戦略を作成
- 2010 年には FCPF への Readiness Preparation Proposal (R-PP) が承認され、UN-REDD から 5.5 百万米ドル、FCPF から 3.4 百万米ドルの資金拠出が承認された。
- 2011 年、国家森林モニタリングシステムを公式に立ち上げた。



【図 2-2 コンゴ民主共和国の REDD プラス 2030 国家戦略に向けての構築プロセス】⁷

⁷ 出典 : Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 12.

2.4 R-PP における成果フレームワークと予算の概要

【表 2-2 コンゴ民主共和国における成果フレームワーク】⁸

	期待される結果	主たるパートナー	進行状況とパフォーマンス指数
1.	2030 年国家 REDD プラス戦略が、参加型方式で策定され、実行する準備が可能となっていること	国家委員会、省庁間委員会、National Coordination for REDD (CN-REDD)、Climate and REDD Working Group from Civil Society (GTCR)、United Nations Development Programme(UNDP)、世界銀行、国際連合食糧農業機関 (Food and Agriculture Organization: FAO)	<ul style="list-style-type: none"> REDD の幅広い関係者のミーティングポイントとなるような、質が高く、目標値の高い国家 REDD プラス戦略 決定ツール(参照シナリオ等)、及び戦略的環境評価 (Strategic Environmental Assessment: SEA) に依拠した戦略的、マルチセクター対応かつ予算が配分された REDD のための投資計画
2.	REDD 実行のための制度的枠組が暫定的に作成され、2013 年からの開始に向けて準備が可能となっていること	国家委員会、Ministry of Environment, Conservation of Nature and Tourism (MECNT)、CN-REDD、世界銀行、United Nations Environment Programme (UNEP)、UNDP	<ul style="list-style-type: none"> カーボン・プロジェクト及びイニシアティブの登録が機能していること カーボンファイナンスマネージメントのための暫定的な国家ファンド・メカニズムが整備されていること 環境社会アセスメントの手続きが整備されていること
3.	REDD のための包括的な MRV システムの構築と運用	Directorate of Forest Inventory and Planning (DIAF)、CN-REDD、FAO、世界銀行、UNEP	<ul style="list-style-type: none"> GHG 排出権(森林減少/劣化)のための測定・報告・検証 (Measurement, Reporting, Verification: MRV) システムが国レベルで運用・管理可能であること 社会・環境的コントロール及び経済的な MRV システムが整っていること デュアル MRV システムが採用されていること

✦ コンゴ民主共和国の R-PP に示された予算のほとんどは、表 2-3 のとおり、外部の援助資金により構成されている。

【表 2-3 準備段階 (2010-2012 年) 予算の概要】⁹

(単位:千ドル)

準備段階のための予算 (A)	22,717
コンゴ民主共和国の予算合計 (B)	1,827
現在実施中の UN-REDD/FCPF	1,227
国際熱帯木材機関 (International Tropical Timber Organization: ITTO)/REDDES	600
上記予算 (A) のうち外部資金で賄われる費用 (A-B) = F + G	20,890
UN-REDD と FCPF への資金要請 (D + E) = F	8,900
世界銀行 FCPF へ資金要請 (D)	3,400
UN-REDD への資金要請 (E)	5,500
うち UNDP	2,185
うち FAO	2,343
うち UNEP	972
協調融資 (Congo Basin Forest Fund (CBFF) 及び他の二国間ドナーからの財政支援) (G)	11,990

⁸ 出典 : Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 13.

⁹ 出典 : Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version : 14.

2.5 REDD プラスへの取組（年表）

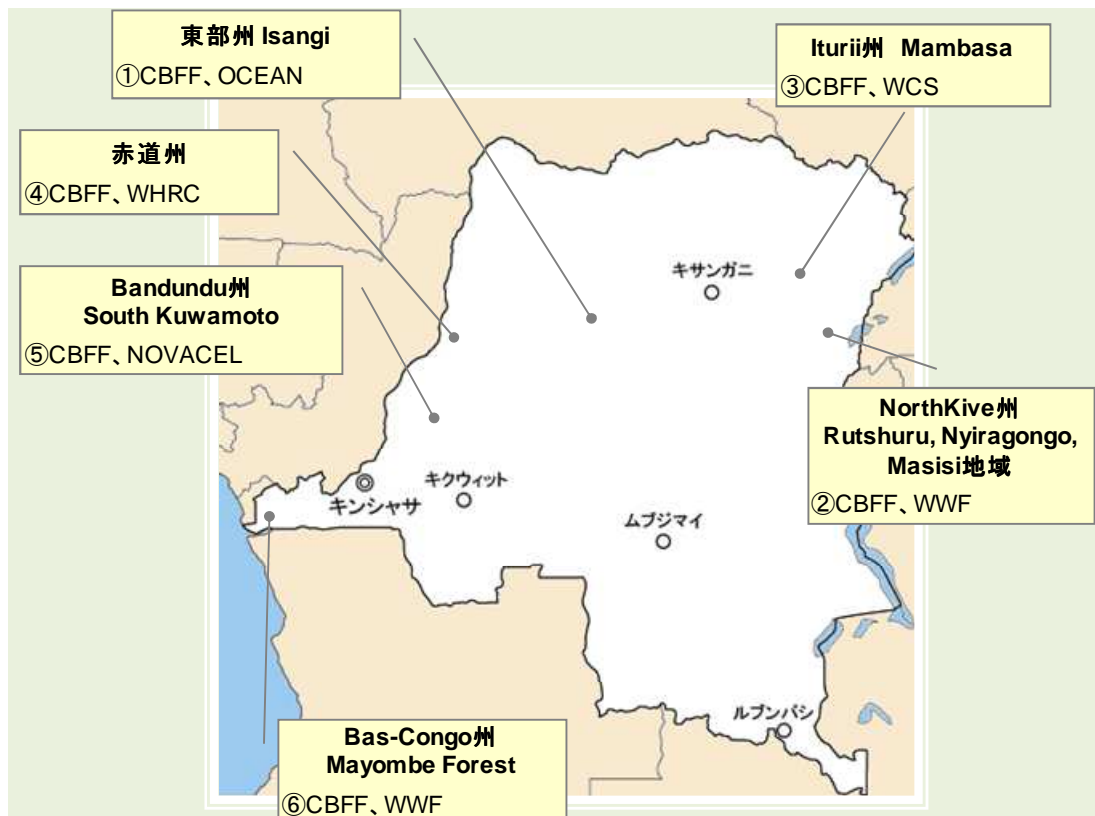
【表 2-4 REDD プラスに関する主な取組】

REDD プラスに関する主だった取組	
2008 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ FCPF に R-PIN を提出
2009 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 月、UN-REDD/FCPF 及びパートナーと初のジョイントミッションを開催 ■ 5 月、UN-REDD より資金援助(1.8 百万米ドル)の供与実施 ■ 8 月、首都 Kinshasa にてナショナルプロセスのキックオフワークショップ開催、続いて 9 月から 2010 年 2 月にかけて 5 つの州 (Kisangani, Bukavu, Matadi, Mbandaka, Lubumbashi) にて REDD 関連のワークショップ開催 ■ 11 月、REDD ナショナルコーディネーションを官庁化し、REDD プラス委員会を設立することを定めた REDD 首相令 (A decree by the Prime Minister N°09/41) の発令
2010 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1~2 月、FCPF へ提出した R-PP の決定及び国家認証 ■ 3 月、UN-REDD がコンゴ民主共和国への 5.5 百万米ドルの資金拠出を承認 ■ 3 月、UN-REDD 及び FCPF 参加委員会のための R-PP のプレゼンテーション、準備段階のための 8.9 百万米ドルの追加的資金投入決定 ■ 6 月、世界銀行の森林投資プログラム (Forest Investment Program: FIP) に選定される (支援資金 65 百万米ドル) ■ 8 月、Kinshasa で初の REDD プラス大学 (REDD+ University) 講義開講 (2012 年も第 3 回開講、800 人が受講)
2011 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 6 月、国際連合の気候変動関連会議において、国家森林モニタリングシステムの新規立ち上げについてプレゼンテーションを実施 ■ 10 月、REDD プラスのハイレベルイベントが Kinshasa にて開催 (ノルウェー、UNEP、UN-REDD 事務局の支援による) ■ 12 月、COP17 サイドイベントにおいて、コンゴ民主共和国が国家森林モニタリングシステムの公式立ち上げ
2012 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 世界銀行・アフリカ開発銀行が FIP の支払いを準備中 ■ REDD プラスのためのマルチドナートラストファンドの設立を財務省と UNDP が協議中

3 主だった REDD プラス関連事業の実施状況

3.1 主だった REDD プラス関連事業の実施状況

- ✦ 英国とノルウェーが共同で 2008 年から運営を開始したコンゴ流域森林基金（Congo Basin Forest Fund : CBFF）を原資に、様々な機関が REDD プラスプロジェクトを実施してきた。
- ✦ その他、FCPF の支援を受けた REDD プラスのプロジェクトも実施されている。



(注) 2012 年 12 月 31 日現在実施中の事業を示している。

(注) 図中の番号は、表 3-1 と対応。

【図 3-1 コンゴ民主共和国における主だった REDD プラス関連事業の実施地域及び実施団体】

【表 3-1 コンゴ民主共和国における主だった REDD プラス関連事業実施及び資金支援の状況】

事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施			
① 国際基金	Congo Basin Forest Fund (CBFF)、英国及びノルウェー政府、Joint Organization of the Ecologists and Friends of the Nature (OCEAN)	東部州 Isangi	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Isangi geographically-integrated REDD pilot project」¹⁰。 ■ 予算規模 2,490 キューロ、実施期間は 2011～2013 年の 3 年間。 ■ 土地利用計画及び村ベースの森林管理計画策定、アグロフォレストリ及び再植林の促進、持続可能な森林管理に関する情報提供や教育を通じて、持続可能な森林管理に取り組む。
② 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、World Wide Fund for Nature (WWF)	NorthKive 州 Rutshuru, Nyiragongo, Masisi 地域	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project」¹¹。 ■ 予算規模 2,490 キューロ、実施期間は 2011～2013 年の 3 年間。 ■ 植林、マイクロ植林、林業技術者のキャパシティ・ビルディング、薪炭林の違法伐採抑制、木材利用分野の研究を通じて、持続可能な森林管理に取り組む。
③ 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、Wildlife Conservation Society (WCS)	Ituri 州 Mambasa	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Geographically Integrated REDD Pilot Project of Mambasa」¹²。 ■ 予算規模 2,980 キューロ、実施期間は 2011～2013 年の 3 年間。 ■ 準国ベースでの REDD プラス実施を通じて、2013 年からコンゴが取り組む国家 REDD 戦略策定に役立てることを目指す。
④ 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、Woods Hole Research Center (WHRC)	赤道州	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Civil Society and Government Capacity Building within the REDD Framework」¹²。 ■ 予算規模 3,210 キューロ、実施期間は 2011～2013 年の 3 年間。 ■ 赤道地区での持続可能な森林管理実施にあたり、情報共有による透明性の確保やコミュニティとの関係構築に取り組む。
⑤ 国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、NOVACEL	Bandundu 州 南 Kuwamoto	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project」¹³。 ■ 予算規模：2,500 キューロ、実施期間は 2011～2013 年の 3 年間。 ■ 苗床の設置、アグロフォレストリの実施を通じて持続可能な森林管理に取り組む。

¹⁰ 出典：CBFF (2010) Isangi Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report.

¹¹ 出典：CBFF (2010) Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project Appraisal Report.

¹² 出典：CBFF (2010) Mambasa Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report.

¹³ 出典：CBFF (2011) South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project Appraisal Report.

【表 3-1 つづき】

	事業/支援 タイプ	主だった 実施主体	実施場所	取組の概要
⑥	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府、WWF	Bas-Congo 州 Mayombe 森林	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest」¹⁴。 ■ 予算規模 2,330 千ユーロ、実施期間は 2011～2013 年の 3 年間。 ■ 種子生産、小規模森林管理、林業技術者のキャパシティ・ビルディング、地域の NGO や地域住民、先住民のキャパシティ・ビルディングを通じて、持続可能な森林管理に取り組む。
資金支援				
—	国際基金	CBFF、英国及びノルウェー政府	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Project of Support for the Community Implementation of Forests in DRC」¹⁵。 ■ 予算規模 7.6 百万ユーロ、実施期間は 3 年間。 ■ 国家 REDD 戦略策定、コミュニティ林業実施支援を行う。

(注) 左列の番号は、図 3-1 と対応。

3.2 日本の支援状況¹⁶

➡ 無償資金協力として、以下の取組を実施してきた。

- ・ 環境プログラム無償「森林保全計画」：10 億円の資金を提供し、森林減少の抑制や温室効果ガス（Greenhouse Gas：GHG）の排出量削減の支援を実施（2010 年）
- ・ 「コンゴ盆地における持続可能な熱帯雨林経営と生物多様性保全のための能力強化計画」：ITTO と連携し、278 百万円（ただし、カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国及び中央アフリカに対する合計額）の資金を提供し、森林保全分野でのキャパシティ・ビルディング支援を実施（2011 年）

➡ 国際協力機構（JICA）は、以下の REDD 関連事業を実施している。

- ・ 技術協力プロジェクト「持続可能な森林経営及び REDD プラスのための国家森林インベントリ整備支援プロジェクト」：300 百万円の調査費用を用い、国家森林資源インベントリシステムの構築、システム運用計画の策定、運用に向けての政府職員のキャパシティ・ビルディングを実施（2012～2016 年）

¹⁴ 出典：CBFF（2011）Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest Project Appraisal Report.

¹⁵ 出典：CBFF（2012）Democratic Republic of Congo.

¹⁶ 出典：JICA（2012）REDD-Plus.

4 UNFCCC への関与情報

4.1 UNFCCC での取組状況

【表 4-1 UNFCCC での取組状況】¹⁷

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名:1992年6月11日、批准:1995年1月9日
京都議定書	署名:なし、批准:2005年3月23日
DNA 担当組織	環境・自然保護・観光省(MECNT)
第1次国別報告書	2000年11月21日提出
第2次国別報告書	2009年11月28日提出

4.2 NAMAs における REDD プラスの位置づけ

- 14の途上国が参加する Low Emission Capacity Building Programme に参画しており、EU、ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省（Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation and Nuclear Safety : BMU）及び UNDP の資金支援により低炭素開発戦略（Low Emission Development Strategy : LEDS）及び NAMAs の計画を策定することとなっているが、コンゴ民主共和国については REDD プラスをはじめとして進捗等の具体的な情報は示されていない¹⁸。

5 UNFCCC へ提出している森林情報

【表 5-1 A/RCDM のための森林定義】¹⁹

項目	値
森林面積	最小 0.5ha
樹冠率	最低 30%
樹高	最低 5m

【表 5-2 A/R CDM の対象森林】¹⁹

項目	A/R CDM の対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

6 その他の特徴的な地球温暖化対策

- REDD プラス大学において、REDD プラスの講座を大学に開設し、幅広い関係者への知見共有に注力する他、民間セクターとの共同による森林支援にも力を入れている。
- 2006 年の貧困削減・成長戦略文書（The DRC's Poverty Reduction and Growth Strategy Paper : DSRP）においても、森林保全の強化が明示されている。

¹⁷ 出典：UNFCCC（2012）Parties & Observer States: Democratic Republic of Congo.

¹⁸ 出典：EU, UNDP（2011）Low Emission Capacity Building Programme.

¹⁹ 出典：UNFCCC（2012）Designated National Authorities.

出典・参考資料

- CBFF (2010) Geographically Integrated Ecomakala + REDD Pilot Project Appraisal Report. ADB <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC%20-%20Approved%20-%20Gographically%20integrated%20Ecomakala%2B%20REDD%20pilot%20project.pdf>
- CBFF (2010) Isangi Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report. ADB <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Policy-Documents/DRC%20-%20ISANGI%20-%20Pilot%20Project%20-%20CBFF%20-%20APPROVED.pdf>
- CBFF (2010) Mambasa Geographically-Integrated REDD Pilot Project Appraisal Report. ADB <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC%20-%20Mambasa%20Pilot%20Project%20-%20CBFF%20-%20APPROVED.pdf>
- CBFF (2011) Integrated REDD Pilot Project Around the Luki Biosphere Reserve in Mayombe Forest Project Appraisal Report. <http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/DRC%20-%20Luki%20Biosphere%20Reserve%20in%20Mayombe%20Forest%20-%20Approved%20%283%29%20%282%29.pdf>
- CBFF (2011) South Kwamouth REDD Agroforestry Pilot Project Appraisal Report. ADB http://www.afdb.org/fileadmin/uploads/afdb/Documents/Project-and-Operations/RDC-CBFF_%20Approved%20%282%29.pdf
- CBFF (2012) Democratic Republic of Congo. CBFF <http://cbf-fund.org/en/Republique-democratique-du-Congo>
- Democratic Republic of Congo (2010) National Programme Document – Democratic Republic of Congo. UN-REDD <http://www.un-redd.org/UNREDDProgramme/CountryActions/DemocraticRepublicofCongo/tabid/1027/language/en-US/Default.aspx>
- Democratic Republic of Congo (2010) Readiness Plan for REDD (R-PP), Final Version . FCPF http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Jul2010/R-PP_V3.1_English_July2010.pdf
- Democratic Republic of Congo (2012) REDD Readiness Progress Sheet. FCPF <http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2012/FCPF%20REDD%20Readiness%20Progress%20Report%20-%20Rep%20Congo%20-%20Sept-2012.pdf>
- EU, UNDP (2011) Low Emission Capacity Building Programme. UNDP http://www.undp-alm.org/sites/default/files/downloads/lecbpb brochure_2_6web.pdf
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO <http://countrystat.org/for/en>
- ITTO (2011) Status of Tropical Forest Management 2011 : 81. ITTO http://www.itto.int/direct/topics/topics_pdf_download/topics_id=2645&no=1&disp=inline
- JICA (2012) REDD-Plus. JICA <http://www.jica.go.jp/publication/pamph/pdf/redd.pdf>
- UN data <http://data.un.org/Default.aspx>
- UNFCCC (2012) Designated National Authorities. UNFCCC <http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- UNFCCC (2012) Parties & Observer States: Democratic Republic of Congo. UNFCCC <http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=CD>

本レポートは、2012年12月31日までに公表された情報に基づく。